

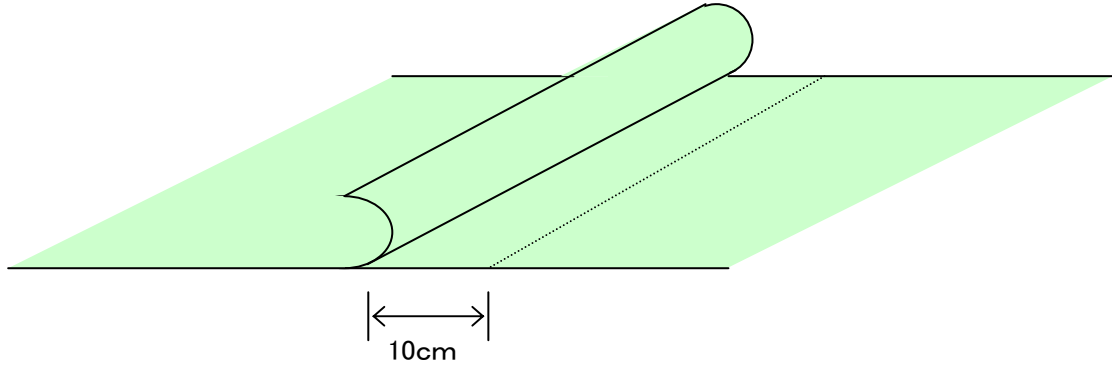
施工手順要項

1) 敷設場所は、除草作業を行ない、刈り取った草やゴミ等を除去します。

- ①凹凸がある場合は、整地し敷設しやすい状態にします。
- ②除草剤の散布が可能な場合は散布をお勧めします。
- ③イネ科、大木類等の強雑草が自生している場合は、出来るだけ根を取り除いて下さい。

2) 敷設場所の形状に合わせてシート(防草シート・防草マット)を敷いて行きます。

- ① シートをラップさせる場合は、ラップ部分を10cm以上とって下さい。



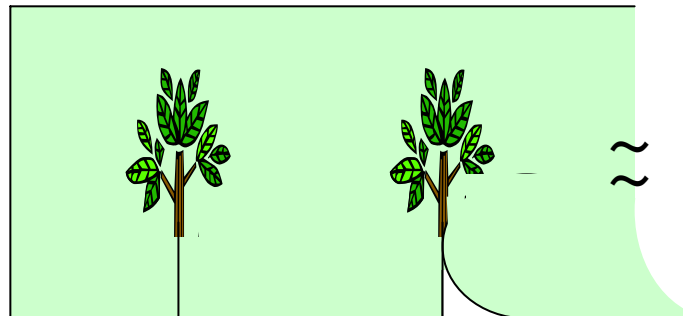
- ② 固定ピンは約40cm～50cmピッチの打ち込みを目安とします。(1㎡当り平地で約5本、法面で約6本)

※ ピンの設置数は参考値であり、現地状況に合わせて増減して下さい。

3) 植栽がある場合

- ① ②中高木の場合は、植栽を先に行ない、敷設時に位置を合わせ、シートをカットする方法をお勧めします。

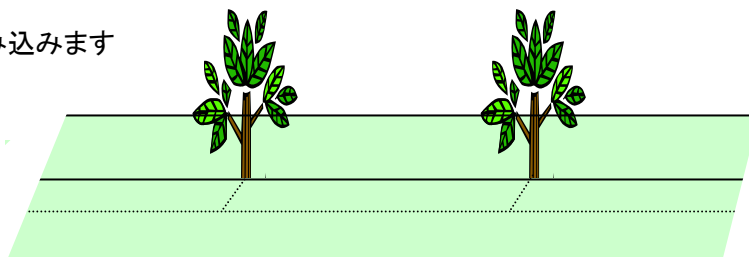
※切り込み部の位置を合わせ、裁ちばさみ等でカットします。



- ②中央に植栽する場合

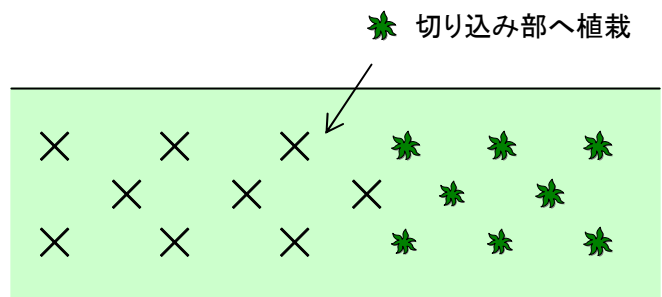
シートを両方からはさみ込みます

※切り込みを入れたシートを下側にし、切り込み部を覆う形で片側からシートを被せる



- ② 地被類や低木(根鉢が小さい物)は、敷設後に十字、またはT字に切り込みを入れての植栽をお勧めします

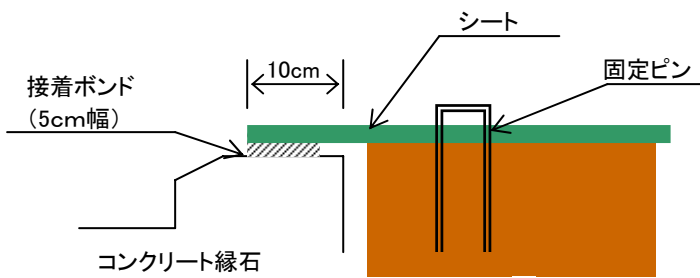
※切り込み参考歩掛り: 100株あたり0.2人工



防草シート敷設時の注意事項

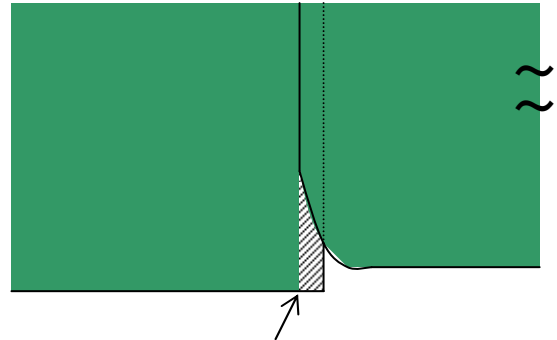
- 1) 敷設後、端部やラップ部分にすき間等が生じる場合は、光がすき間から入り込み、その部分より雑草が生えてきたり、強風時にシートが捲れる原因となる可能性がありますので下記の処理をお勧めします。

① 接着剤による処理



※使用目安: 1㎡あたり 1kg

※接着ボンド(ページ: E-3)



重ね合わせ部ボンド接着
ラップ幅は 10cm 以上とり、ボンド幅は 5cm とします。

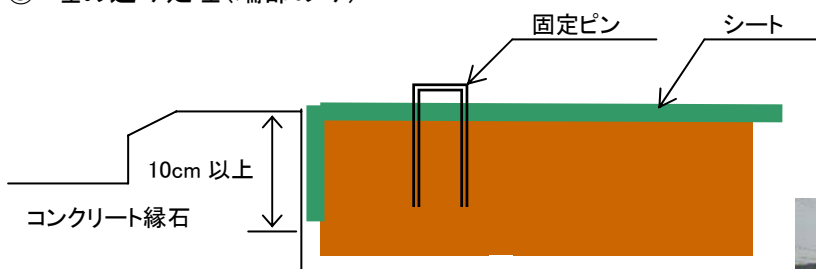
② 接着テープによる処理



※ マルチング接着テープは施工現場に合わせて幅 75mm、100mm、150mm × 20m をお選びください。

ビスタスパン接着テープ: グリーン色 SRB接着テープ: ブラウン色 (ページ: E-2)

③ 埋め込み処理(端部のみ)



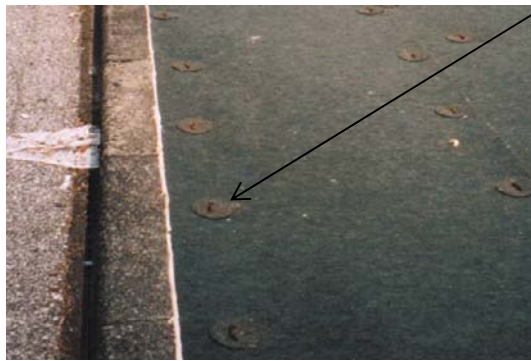
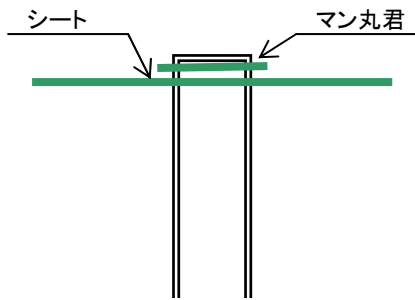
【その他固定方法: はめ込みピンによる固定】



【端部折込による施工】

2) 植栽時の切り込みや固定ピンのピン穴等からの雑草防止

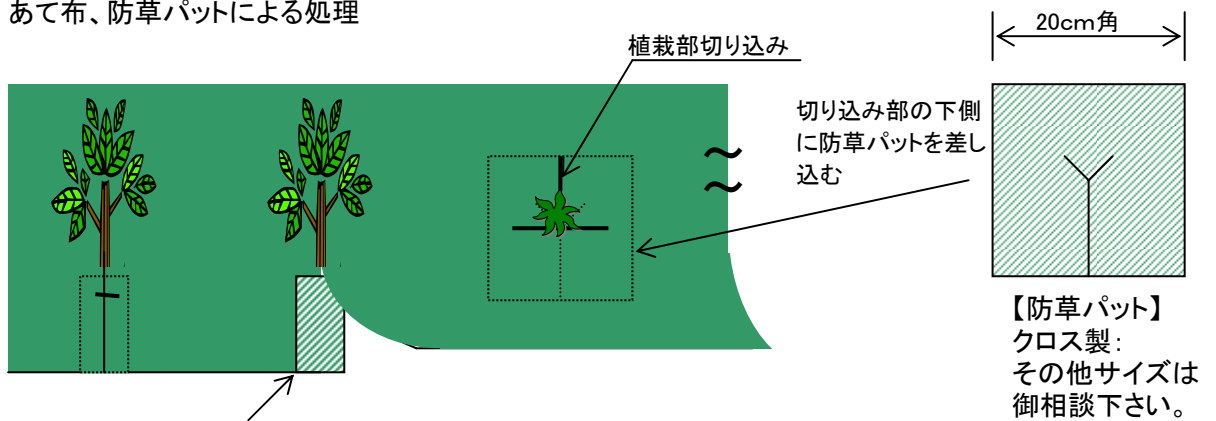
① 固定部補強材の使用(ピン穴のみ)



マン丸君
(固定ピン部補強材)

※マン丸君(ページ:E-1)

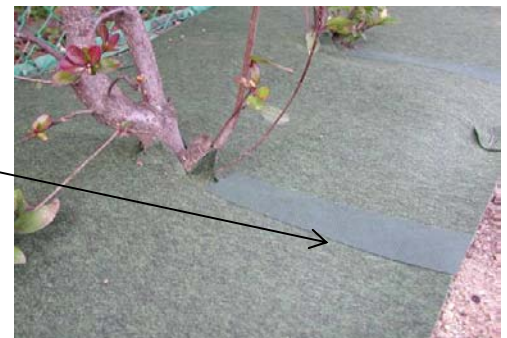
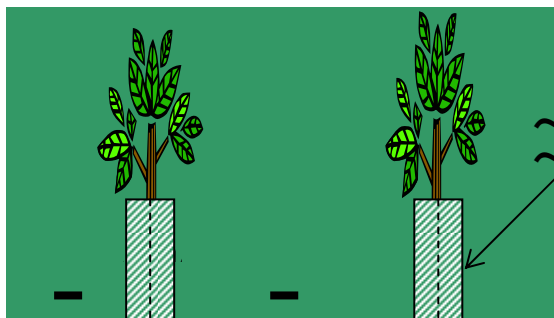
② あて布、防草パットによる処理



切り込み部分の下にあて布(または防草パット)を差し込み、固定ピンで押える

③ 専用接着テープによる処理

切り込み部に接着テープを貼り、固定ピンで押えます



【端部処理をしていない状態】



【端部処理を行った状態
(コンクリートアンカーピンによる固定)】